

平成 29 年度 第 1 回 総合教育会議 会議録（要約）

期 日 平成 29 年 7 月 12 日（水）14 時 00 分から 15 時 40 分

場 所 雲仙市役所別館 3F 防災対策室 1

出 席 者 市長部局
金澤秀三郎市長
教育委員会部局
山野義一教育長、徳永 卓教育長職務代理者
福田 保委員、山中藤久委員、平山田鶴子委員

説 明 員 教育委員会事務局
坂本教育次長、小松総務課長、下田学校教育課長、
前田生涯学習課長、久保田スポーツ振興課長、
関総務課課長補佐（記録）

会議日程

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議事
 - （1）平成 29 年度に教育委員会が取り組む主要事業について
 - ① 教育環境の整備について
 - ② 学校教育の充実について
 - ③ 生涯学習の推進について
 - ④ 文化芸術の振興と歴史の継承について
 - ⑤ スポーツの振興について
 - （2）今後の教育環境整備の考え方について
- 4 その他

【14:00 開会】

1 開会

2 市長あいさつ

金澤市長 本年4月にスタートした第二次雲仙市総合計画では、「将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり」を基本方針のひとつとして位置づけ、「次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育成するための学校教育の推進」、「市民の生きがいがづくりや健康づくりにつながる生涯学習や生涯スポーツの環境づくり」、「郷土の誇りである文化・芸術の振興と歴史の継承」のための取組みを進めている。

今後は、長期的な財政運営を視野に事業の選択と集中を念頭に、本市の将来像に掲げる「つながりで創る賑わいと豊かさを実感できるまち」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいく必要がある。

教育の分野では、教育施設の老朽化や児童生徒の減少による学校規模の縮小等、様々な課題があり、この総合教育会議の中で、教育委員の皆様と教育施策の方向性や教育行政の将来像について意見交換を重ねていきたい。

3 議事事項

議事（1） 平成29年度に教育委員会が取り組む主要事業について

※事務局から、①教育環境の整備について、②学校教育の充実について、③生涯学習の推進について、④文化芸術の振興と歴史の継承について、⑤スポーツの振興について資料により説明する。

議事（2） 今後の教育環境整備の考え方について

※事務局から、今後の教育環境整備の考え方（学校のエアコン設置状況・学校プール施設の現状等）について資料により説明する。

金澤市長 いくつかのポイントごとに分けてご意見をいただきたい。まずは、小中学校のエアコン設置について皆様のご意見をいただきたい。

福田委員 現在雲仙市では、普通教室に壁掛扇風機が各2台とミストシャワーが設置されている。エアコンがあるのに越したことはないが、1教室あたりの設置費用が約250万円必要で、予算の削減が続くなか、エアコン設置には疑問がある。現在の状況では、普通教室への設置は難しく、扇風機の設置での対応でいいのではないか。

平山委員 エアコン設置は財政面でも難しく、身体的にも影響があるようだ。児童・生徒

が汗をかくことで、体温調節機能が維持されると聞いている。

山中委員 現状の予算からエアコンの設置は難しい。災害等で学校施設が避難所になることが多く、特別教室には整備してもいいのではないか。特別教室のエアコン設置率はどのくらいか。

小松総務課長 雲仙市はパソコン室と図書室への設置で 16.1%。

山中委員 学校が避難所になると、体育館には冷房設備がないため、特別教室への設置を増やしてほしい。

徳永教育長職務代理者 今の予算ではエアコン設置は難しい。教室に設置されている扇風機はあまり使っていないようで、使用してもらったうえでいろんな調査を実施し、扇風機が不足するのであれば増設していいのではないか。エアコンは学校がある程度適正規模に整理された後、設置を考えてもいいと思う。

山野教育長 雲仙市は、子ども 1 人あたりの教室のスペースが広い。学校では扇風機を使用していないことが多く、消費電力も少ないことから積極的に使用するようお願いしている。子ども達の教育活動は教室外での活動もあり、また長期の夏季休業もあるので、現状ではエアコンの設置はどうかと思う。雲仙市の学校は昭和 45～50 年代に造られたものが多く、老朽化が進んでおり、中学校の建て替えの際に小学校の統廃合とエアコンの設置を一緒に考えていく必要があると思う。

金澤市長 扇風機を使用していないことは、共通認識か。

下田学校教育課長 先日の学校訪問の際は、使用している教室もあった。窓を開けない教室もあるので、開けるように指導している。学校は電気代を気にしているようだ。

徳永教育長職務代理者 扇風機の効果について、学校への調査は行ったのか。

小松総務課長 正式な調査はしていないが、子ども達の感想としては、涼しい、雨で窓が開けられないときに有効だという声はあった。

山野教育長 土黒小学校に寄付があった際に、先駆けて扇風機を設置したが、その時に調査をした。気温が 30℃を超えた日は扇風機を使っても効果がないという調査報告があったが、30℃を下回った日には、扇風機を使用することにより涼しさを感じるとのことで

あった。

また、1階と3階とでは温度差があり、3階が暑かったとの報告であった。

金澤市長 学校現場の教職員や子どもたちからの意見や要望があると思うが、どのように判断しているか。

下田学校教育課長 今は各家庭でエアコンをつけているのが当たり前の生活なので、教室にエアコンがあるに越したことはない。学校現場としては、予算が許せば整備してほしいという気持ちはある。

金澤市長 次に、小規模校が増えるなかで、今後のプール設置についてご意見を頂きたい。

福田委員 プールの使用は期間限定であるが、相当な費用が必要である。児童数の推移と予算等を考えた時に、行政が方向性を示す形でもいいのではないか。プールが使用できない場合等は、時間調整をして他の学校のプールを使用する方法もある。将来的に学校の統廃合と関連して考えなければならないと思う。

平山委員 学校の統廃合も考えないといけませんが、今すぐは難しいと思う。小浜町が授業として成立しているので、プールは各学校になくてもよいのではないか。他の学校のプールを借りる事もいいと思う。

山中委員 全ての学校のプールを整備するのは無駄な経費だと思うし、将来的に学校の統廃合を考えた時に、各町1校の整備でよいと思う。

徳永教育長職務代理者 以前勤務していた学校では、町営プールで授業をしていたが、特に問題はなかった。プールを全部維持していくのは難しい。学校の統廃合を含め、プールの維持について検討したらよい。市営プールを利用する際は、計画をきちんと立て一般利用者からの不平不満が出ないようにしないとけない。

山野教育長 プールの統廃合は、学校の統廃合に先行して考える必要があると思う。年間の水泳指導時間から考えると、1つのプールを何校かで利用することによって有効活用できる。少人数の学校はバスでの移動により2～3学年まとめて実施できる。20年程前からすると、子ども達のライフスタイルも変わり、夏季休業中のプールの利用は減ってきている。教育委員会としてもプールの統廃合を少しずつ進めていきたいと考えている。

金澤市長 複数の学校でプールを利用する際の調整は難しいことなのか。

下田学校教育課長 学校間で調整を行い、移動時間がある場合はその分授業時間がカットされるという意見もあり課題と考えている。

山野教育長 他の学校でプールで授業を実施する場合は、1単位でなく2単位授業をした方が有効であるとする。小浜地区はリフレッシュセンターを利用しているが、一般利用者に迷惑を掛けているので、小浜地区の1校に整備した方がいいと考えている。財政的には教育委員会内で検討する必要がある。

金澤市長 雲仙市内の中学校にプールはあるのか。

下田学校教育課長 中学校のプールは、取り壊している学校と、プールはあるが使用していない学校がある。

金澤市長 小・中学校の学習指導要領で、水泳の授業時間数について指定があるのか。

下田学校教育課長 小学校も中学校も指定された授業時間はないが、小学校は概ね10時間程度で、中学校は直接水に入らなくても、水の危険から身を守る方法を座学で教えてもよいことになっている。

金澤市長 市内の中学校でプールに入っている授業時間はどのくらいか。

下田学校教育課長 1回2時間を2日間の実施で計4時間程度である。

金澤市長 小学校のプールが大小とあるが、義務づけられているのか。

下田学校教育課長 義務ではない。低学年の授業は水に慣れることが目的であり大プールは泳法を習得することが目的である。

金澤市長 他の施設のプールを借りる際、小プールがなくてもいいのか。

下田学校教育課長 プールの底に台を置くことで、水深を調節することができる。

金澤市長 計画の策定は、現に着手しているのか。

坂本教育次長 基本方針は完成している。今後、校長会等で事務局が考えているプールの

整備方針について説明し、各学校からの意見を参考にしていく。

山野教育長 教育委員会にも諮っていく。

金澤市長 教育委員会が取り組む主要事業、また今後の教育環境整備について他に意見はないか。

山野教育長 スポーツの推進について、小中学校では毎週休みなく部活動が行われている。学校教育課においては、学校にどのようにお願いしているか。また、小学校の社会体育においては、どのようなことを目指しているか説明をお願いします。

久保田スポーツ振興課長 小学生クラブ活動振興会へは、毎日の指導時間、休日の設定を徹底してもらうよう指導している。毎月第3日曜日の家庭の日、夏季の学校閉庁日は休養してもらう。6、7月の休養日の実施、8月の休養日の計画についても調査をしていく。

下田学校教育課長 部活動も週2日の休養日の設定を目指している。中学校の校長に対しては、土日のいずれか1日と平常日の1日の休養をお願いしている。子ども達の健全な育成には週2日の休養が必要で、それが、教職員の超過勤務を減らすことに繋がる。

福田委員 学校教育の充実について、いじめ問題も家庭の問題という印象がある。民生児童委員との連携はあるのか。

下田学校教育課長 今は、早急に対応する必要があるので、子ども支援課の家庭児童相談員と学校教育課の訪問指導員、スクールソーシャルワーカーとの連携が多い。民生児童委員は情報を持ってきてくれないように感じている。子ども支援課からも情報が入るので、すぐ動けるというメリットがある。民生委員が掴んだ情報を私どもに流してくれたら一番効果的である。

福田委員 スポーツの振興について、水泳教室はよくあるようだが、陸上教室は今年度からかの実施なのか。

久保田スポーツ振興課長 陸上教室は今年度から新たに取り組む事業である。小学生対象で、雲仙市陸上競技協会の会員を講師に9月の毎週日曜日に開催する。

福田委員 陸上の技能向上が目的なのか。要望があったのか。

久保田スポーツ振興課長 要望があった。

福田委員 南島原市は廃校になった学校で、地域の方が指導者となり陸上を定期的に指導している。その結果、中総体の成績も良かったようだ。ニーズがあり、指導者が確保できれば開催してもらいたい。

山中委員 市民のスポーツの日常化ということで、経費のかかる市民運動会よりも、各競技団体に市民が気軽に参加できるような催しを計画してほしい。

久保田スポーツ振興課長 各競技団体に教室を開いているところもある。

山中委員 競技したことのない方が気軽に行けるようなイベントをしてもらいたい。

久保田スポーツ振興課長 市民の皆様には、今年度初めて開催するレクレーション祭を通してスポーツを楽しんでももらいたい。

徳永教育長職務代理者 いじめの状況について、いじめの解消率が小学生 74%、中学生 94%で小学生が低い。いじめについて、小学生の時から十分な指導しておけばいいと思うが。

下田学校教育課長 学校からのアンケートを数値化したもので、認知件数が増えたことは良かったと思う。小学生の場合はじゃれあったりするような場合も認知されており、そういうレベルでの解消率ではないか。全国的には新聞報道等に繋がる重大事案は中学校が多い。

徳永教育長職務代理者 スポーツ医科学基礎講座の参加者は誰か。

久保田スポーツ振興課長 クラブの指導者、保護者、生徒である。

徳永教育長職務代理者 土・日曜日に子ども会でいろんなボランティア活動やレクレーションを計画するが、小学校の場合は社会体育もあり、土・日曜日も活動しているので、来ない人が多い。スポーツ医学の面からも休みを取らないといけない。子ども会指導員の方も人数が集まらなくて困っているので、休みの指導もスポーツ振興課からしてもらいたい。

山中委員 学校の防災機能強化について、校舎及び体育館の外壁耐震化率の平成 29 年度達成目標 31%ということで、教育費予算に限らず、早急に予算をつけて整備してほしい。

小松総務課長 校舎躯体自体の耐震化は全て終えている。外壁もできる限り早く実施したい。

坂本教育次長 建物には、柱、梁など建物の躯体となる構造体と柱、照明など非構造体があり、構造体の耐震化は済んでいる。地震が起きても、建物が倒壊することは基本的になり。倒壊しなくても壁が崩落すれば市民に危害があるので、非構造体についても落下しないように耐震化に取り組んでいる。平成 32 年までに 50%以上を目標にしているが、外壁の改修に約 3000 万円必要。まず取り組むべきは外壁で、防災機能を強化することが一番と考えている。

山野教育長 雲仙市内の学校の体育館うち 5 校舎、10 体育館で雨漏りをしている。

山中委員 学校は避難所でも使用するので、別枠での予算をお願いしたい。

山野教育長 学校のプールを減らすことで予算削減が可能。

福田委員 予算について、市報に雲仙市の当初予算が載っていた。歳出に占める教育費の割合は 6.2%。やりたいことはたくさんあるが、予算がないということが分かった。あと 1%でも教育予算を増やしていただけないか。

金澤市長 資料に予算の構成比が記載してある。以前の総合教育会議で島原市、南島原市と比較して雲仙市は教育費が少ないという指摘をうけた。教育関係の予算で新たなことをやろうと思ったときに、施設整備が完了していないのにやるのかというのがある。統廃合も絡んでくると思うが、早く考え方を整理しないといけない。

5 その他

次回の開催時期について、平成 29 年 11 月に開催することを確認する。

【15:40 開会】